

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 秋田市立秋田商業高等学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒010-1603  
秋田県秋田市新屋勝平台1-1

E-mail : akisho@akisho.ed.jp

Website : http://www.akita.ed.jp

児童生徒数：男子 310名 女子 408名 合計 718名  
 児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校でユネスコスクールとしての活動とESDを主に担っているのは、総合的な学習の時間（本校では「ビジネス実践」と総称）の校内組織の一つ「エコロジカルビジネス班」であるため、ここではその班の今年度の活動内容について報告させていただきたい。

はじめに

ビジネス実践の枠組みの中に「エコロジカルビジネス」の部門が設けられてから2年目になる。この班は今年度、3年生6名、2年生12名、教員2名で構成されていた。昨年度と同様に、「企業やNPO法人などとの連携を通して、エコロジカル（生態系保全）とビジネス（商業・経済活動）を両立させた『持続可能な社会』の構築のために行動する力を育成する」ことを目標にしながら多様な活動を行った。

今年度の取り組み

今年度取り組んだことは、以下の三つのものに大別することができる。

(1) 外部講師による講座（秋田県の「環境の達人」地域派遣事業による）

次の期日に講師の方々に来校してもらい、講座を受講した。10月2日には、ユネスコスクールである大曲南中学校の2年生29名が来校し、本校で一緒に受講した。

6月12日（木）「地球温暖化と異常気象」

講師：アーバンマイスターの会幹事 渡部純氏

10月2日（木）「地球温暖化について」

講師：IPCCリポートコミュニケーター 佐藤英明氏

10月16日（木）「環境にやさしい豊かな社会づくり」

講師：SING代表 竹内伸文氏

(2) 企業やNPO法人などとの連携

具体的な連携先と、その連携先で行った主な活動は以下の通りである。

株式会社コバリン・・・もみ殻を固めて作った各種ボードの展示場を見学  
一般社団法人あきた地球環境会議・・・秋田県認定リサイクル製品を紹介  
NPO法人秋田パドラーズ・・・河口でのクリーンアップ活動に参加  
伊藤良治様・・・小学生と一緒に秋田杉の廃材からリサイクル箸を作成  
秋田ユネスコ協会・・・高校生のためのユネスコ国際理解セミナーで発表

### (3) AKI SHOP、キッズビジネスタウンでの活動

ビジネス実践の他の二つの部門と連携して、いくつかの活動を行った。

AKI SHOPのメインイベントが開催された日の前日、エコロジカルビジネスの生徒たちは午前中にボランティアとして学校周辺でのクリーンアップ活動を行い、午後には秋田市雄和地区までマイクロバスで移動し、畑でダリア摘みを行った。



これは国民文化祭の一環として秋田市中通地区の美術館周辺にダリアを飾るイベントに合わせ、その地区の方からの依頼により行うことになったものである。当日は体育着に着替え、農家の方々の指導を受けながら数百本のダリアを摘んだ。このダリアは翌日、ハロウィーン関係のイベントに参加した子供たちに手渡され、その子供たちがダリアを美術館前の広場に飾りつけた。

エコロジカルビジネスの生徒たちは、まだ使用することができるが使われなくなったものをあらかじめ家庭から持ち寄っていたが、AKI SHOPのメインイベントの当日、それらのものを販売するフリーマーケットを開いた。この取り組みにより5,430円の収益が上がったが、これは秋田ユネスコ協会が呼びかけていたアフガニスタン寺子屋運動支援募金への寄付金として使用した。



フリーマーケットの近くでは、一般社団法人あきた地球環境会議のメンバー2名が秋田県のリサイクル業者を紹介するブースを設けた。多数の来場者が様々なリサイクル製品を手に取りながらアンケートに答えていた。一方、2年生の男子生徒はほうきとちりとりを持ちながら、会場周辺の清掃を適宜行った。また、フリーマーケットでの販売を終えた2年生の女子生徒は午後から、前日に自分たちが摘んできたダリアを子供たちに手

渡す作業を手伝った。

一方、3年生の女子生徒4人は、キッズビジネスタウンの店舗の一つとして設けられたリサイクル箸の作成講座を担当した。これは、来場した小学生があらかじめ棒状になった木材（秋田杉の廃材）にやすりをかけて自分なりの箸を作成し、最後に講師の伊藤良治さんに仕上げてもらったうえで無料で持ち帰ることのできる講



座である。昨年度より多くの小学生、100名前後の小学生がこの講座に参加した。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他( )